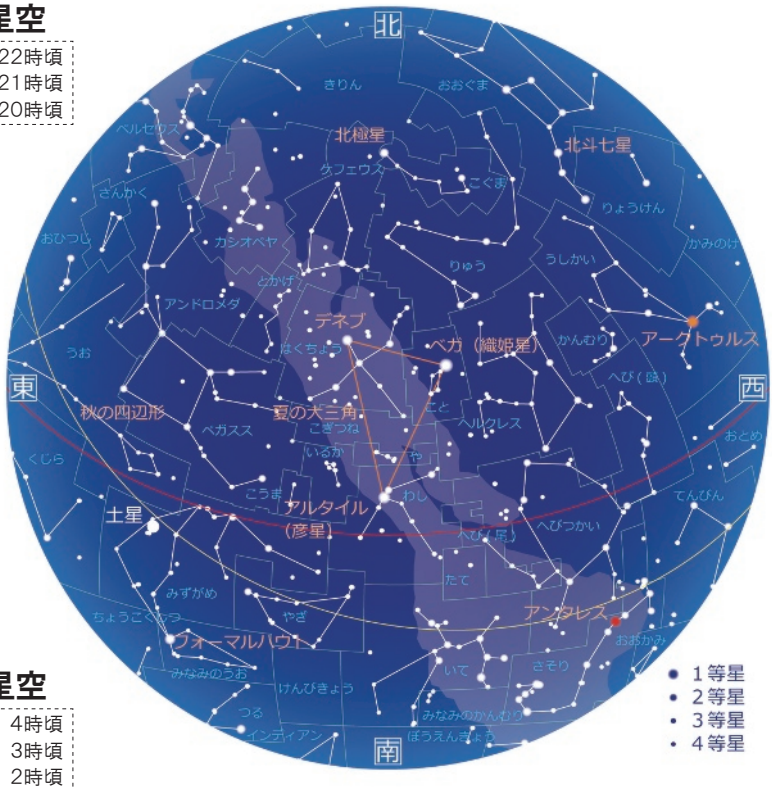
星空ガイド　8月16日～9月15日

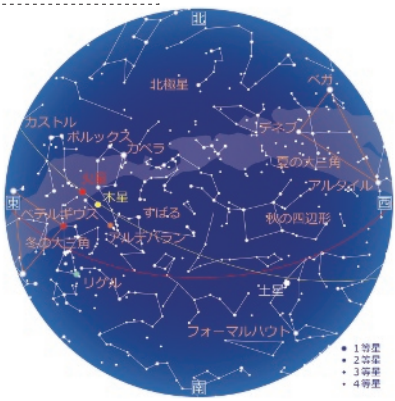
よいの星空

8月16日22時頃
9月　1日21時頃
　　15日20時頃



あけの星空

8月16日　4時頃
9月　1日　3時頃
　　15日　2時頃



※惑星は2024年9月1日の位置です。

［太陽と月の出入り（大阪）］

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	金	5:19	18:44	16:21	0:43	11.7
	21	水	5:22	18:38	19:44	6:39	16.7
	26	月	5:26	18:32	22:34	12:37	21.7
9	1	日	5:30	18:24	3:23	17:41	27.7
	6	金	5:34	18:17	8:10	19:41	3.0
	11	水	5:38	18:10	13:08	22:31	8.0
	15	日	5:40	18:04	16:32	1:44	12.0

土星が衝

9月8日に土星が「衝（しょう）」となり、観察しやすい時期を迎えます。衝というのは、地球から見て外惑星が太陽のちょうど反対側にある瞬間のことです。この頃、土星の明るさは0等級で、大阪の空でもよく見えます。さらに今年の土星は、周りに明るい星があまりないみずがめ座のあたりで輝いていて余計に目立つので、とても見つけやすくなっています。

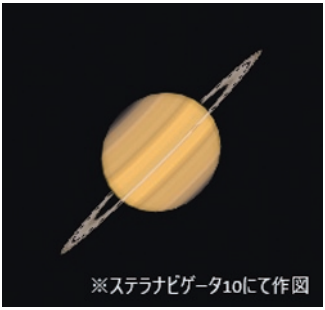
9月8日21時頃・大阪の空での土星の位置

9月8日だけでなく衝の前後1か月はほぼ一晩中土星の観察を楽しめます。ぜひお天気の良い夜には土星の観察にチャレンジしてみましょう。

土星の環が見られるのは今のうち！？

土星と言えば美しい環！望遠鏡を使えばその環の観察を楽しむことができます。実は来年、その土星の環が“消失”します。

もちろん本当になくなってしまうわけではなく、地球から土星の環を真横から見るような位置関係になるので、まるで環が消えてしまったかのように見えるのです。今年の土星を望遠鏡で見るときには、環がどのように見えているのかにもぜひ注目してみてください。



衝の頃の土星の見え方

野村　美月（科学館学芸員）

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
8	19	月	水星が内合
	20	火	○満月（3時） 天王星が西矩 変光星うみへび座R（3.5～10.9等）の極大
	21	水	月と土星が接近 （大西洋では土星食）
	22	木	処暑
	26	月	◑下弦（18時）
	28	水	未明に月と木星、火星がならぶ

月	日	曜	主な天文現象など
9	3	火	●新月（11時）
	5	木	水星が西方最大離角 月と金星がならぶ
	6	金	月とスピカがならぶ
	7	土	白露
	8	日	土星が衝
	10	火	水星が近日点通過 月とアンタレスがならぶ
	11	水	◐上弦（15時）
	12	木	木星が西矩